

企業向けサービス価格指数・小類別「国際航空旅客輸送」

における指数作成方法の見直し

- 企業向けサービス価格指数の小類別「国際航空旅客輸送」（品目「国際航空旅客輸送」（北米方面）、「同」（欧州方面）、「同」（アジア・オセアニア方面））の指数作成で採用しているモデル価格について、一部 IATA 運賃の廃止および IATA 運賃の利用者数減少を受けて、以下の通り見直しすることにしましたので、お知らせします。

【想定する需要者】

従来：I～Ⅷの8タイプの需要者を想定。

今後：往復で異なる航空会社を利用する需要者（I～Ⅳの4タイプ）を無くし、往復で同一の航空会社を利用するV～Ⅷの4タイプの需要者のみを想定。

需要者のタイプ	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
①航空会社の利用可能性	往復で異なる航空会社を利用可能				往復で同一の航空会社を利用			
②購入タイミング	当日		1ヶ月前		当日		1ヶ月前	
③往路の予約変更	可	不可	可	不可	可	不可	可	不可

【各需要者の選択する運賃の例】

（日本航空株式会社：東京－ニューヨーク、エコノミークラス）

I～Ⅷは、上記のタイプ別需要者。

・従来

需要者のタイプ	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
エコノミークラスの運賃選択	制限付きエコノミークラス普通運賃(*)	IATA [®] ックス運賃(*)	制限付きエコノミークラス普通運賃(*)	IATA [®] ックス運賃(*)	制限付きエコノミークラス普通運賃(*)	JALエコノミークラスセイバー	制限付きエコノミークラス普通運賃(*)	JAL [®] ｲﾝﾀﾞｲﾈｯﾄﾞセイバー

・今後

需要者のタイプ	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
エコノミークラスの運賃選択	需要者の設定はなし				新) JALエコノミークラス普通運賃	JALエコノミークラスセイバー	新) JALエコノミークラス普通運賃	JAL [®] ｲﾝﾀﾞｲﾈｯﾄﾞセイバー

（資料）日本航空株ホームページを利用して作成。（*）はIATA運賃、その他はJALキャリア運賃。「新）…」は2011年4月からの新運賃。

- すなわち、「国際航空旅客輸送」では、複数の需要家を想定したモデル価格を採用していますが、このうち往復で異なる航空会社を利用する需要者の設定を無くすことにしました。これは、①往復で異なる航空会社を利用することが可能な各種 IATA 運賃の中で相対的に割安な運賃が廃止されたこと、②近年、IATA 運賃の利用が減少し、より割安なキャリア運賃（原則としては他の航空会社の利用は不可）の利用が主となってきていること、に対応したものです。

- なお、品目「国際航空旅客輸送」（北米方面）および「同」（アジア・オセアニア方面）については、IATA 運賃の変更時期に合わせて 2011 年 4 月から見直すこととします。また、2010 年 4 月に IATA 運賃が変更されていた「同」（欧州方面）についても、これまでは従来モデルを使用してきましたが、前述②の通り、IATA 運賃の利用者の減少が確認できたことから、上記 2 品目の見直しと併せて、IATA 運賃が変更された 2010 年 4 月まで遡って修正することとします。

(参考) 「国際航空旅客輸送」におけるモデル価格の概要

「国際航空旅客輸送」では、価格設定が多様化する中で、複数の需要家を想定し、その条件の下で、各々最安価格を選択するモデル価格を採用しています。モデル価格では、価格変動のばらつきが大きい属性に着目し、当該属性が異なる需要者を複数設定する一方で、価格のばらつきの小さい属性を捨象することで調査コストを抑えつつ、精度の高い指数を作成することができます。¹

具体的には、従来の作成方法における需要者の利用条件として、①航空会社の利用可能性（往復で同一の航空会社を利用する需要者、しない需要者を設定）、②購入タイミング（1 か月前に購入可能な需要者、当日に購入可能な需要者を設定）、③往路の予約変更（往路の予約変更を可能にしたい需要者、しなくてよい需要者を設定）、各々の需要者を想定していました。

本件に関しては、調査統計局 物価統計課（TEL：03-3279-1111 内線 4073）までお問い合わせ下さい。

以 上

¹ 詳しい内容は、[『「企業向けサービス価格指数・2005 年基準改定の最終案」一見直し案に対するご意見と基準改定の概要一』](#)（P 12～16）をご参照ください。